



教育目標 21世紀を担う豊かな心と知性を身につけた実践力のある生徒の育成

知性：自ら学び考える生徒 **友愛**：心豊かな生徒 **健康**：健康で実践力のある生徒

まだまだ安心できませんが リスクの少ない活動を再開

新型コロナウイルスの感染拡大の影響で、緊急事態宣言が11都府県に出されたり、福島県でも感染状況をステージⅢに引き上げられたりして、今まで感染対策を講じられてきました。そのため、学校の行動様式も「レベル2」となり、先月から部活動が中止になったり、音楽の歌唱指導や家庭科の調理実習など感染リスクの高い教育活動を制限したりしていました。

その甲斐あって、県内の感染状況が収束局面になったことで、2月8日（月）から部活動が再開され、2月15日（月）から「レベル1」の行動様式で対応することになりました。

約3週間ぶりの部活動でしたが、体を動かせなかったストレスを発散するかのように、はやる気持ちを抑えながら活動していました。しかしその顔はみんな笑顔でした。

しかし、まだまだ安心することはできません。これから高校入試や卒業式、修了式、4月になると入学式や修学旅行などの本校にとっては節目の大きな行事が予定されています。これらの行事を無事実施するためにも、感染予防対策を講じながらリスクの少ない教育活動を実施してまいりたいと思いますので、ご理解とご協力をお願いします。



再開された部活動 合唱部（左）とソフトテニス部（右）

□部活動を再開しましたが、練習試合や対外試合は当面休止します。

□グループによる話し合い活動や合唱などの授業はマスクを着用しながら行います。

□登校前の検温と健康観察は毎日行うとともに、検温表の確認をお願いします。

□発熱や風邪症状等がみられる場合は登校させないでください。（出席停止扱い）

□同居する家族で発熱症状がある場合も登校させないでください。（出席停止扱い）

□以前からお願いしておりますが、同居家族の方で濃厚接触者等になった場合やPCR検査を受けた場合、さらには生徒がPCR検査を受けた場合はすぐに学校にご連絡ください。

県立高校前期選抜出願状況確定

令和3年度福島県立高等学校の前期選抜の出願が2月9日（火）の正午で締め切られ、その後出願先変更が2月15日まで行われていましたが、昨日最終的な出願状況が確定しました。本校から出願した高校の最終倍率は下表のとおりです。

3月3日（水）から前期選抜が行われます。倍率などの数字にとらわれずに、自信をもって平常心で入試に臨んでほしいと思います。

「夢は見るもの 叶うもの 人の三倍 励むもの」といつも言っているように、これまで目標に向かって受験勉強に、面接練習にがんばってきたと思います。自分を信じてベストを尽くしてほしいと思います。

ご家族の方や一中の教職員、そして在校生みんなで応援しています。



主な県立高校の前期選抜出願状況（最終）

高校名	学科	特色	志願	高校名	学科	特色	志願
安積	普通	1.00	1.12	清陵情報	情報電子	0.80	0.73
安積黎明	普通	1.18	1.36		情報処理	0.50	1.14
郡山東	普通	1.47	1.35	岩瀬農業	ヒューマン	0.38	0.90
郡山	普通	1.75	1.40		生物生産	0.25	0.93
須賀川	普通	0.83	0.85		園芸科学	0.63	0.95
	ワイルド	1.15	1.08		環境工学	0.13	1.08
須賀川	普通	0.45	0.94		食品科学	0.38	0.98
桐陽	数理	1.19	1.00		がびっ	0.63	0.93
長沼	普通	0.00	0.19	白河実業	機械	1.25	0.79

ユネスコ寺子屋募金を届けてきました

2月3日(水)、生徒会JRC専門部長の●●●●●さんが須賀川ユネスコ協会を訪問して、全校生徒から協力いただいた募金や書き損じハガキを届けてきました。

JRC専門部では、昨年末から登校時に昇降口で呼びかけを行ったり、昼の放送で呼びかけを行ったりして、1月18日(月)～1月22日(金)までの1週間で募金活動を行いました。その結果、募金額が18,072円と書き損じハガキが363枚集まりました。ご協力ありがとうございました。

ユネスコ世界寺子屋募金運動は、学校にいけない子どもたちや文字の読み書きができない大人の人たちが「学びの場＝寺子屋」で読み書きや算数を学べるように、教育の機会を提供する運動です。

一中学生の善意が、戦争や貧困などの理由で教育の機会に恵まれない人たちの学びの場＝寺子屋での学びに役立つことになりました。

今回の募金活動を通して、国際協力・国際貢献や教育問題、貧困問題など、国際連合が提唱しているSDGs「Sustainable Development Goals(持続可能な開発目標)」についても学ぶことが出来ました。

本校では、今後もSDGs教育について取り組んでまいりたいと思います。

生徒会専門部の活動が活発化

1月22日(金)放課後、本年度最後の生徒会専門部を行われました。各専門部では12月～1月の活動の反省と2～3月の活動内容や目標を確認したり、2月22日(月)に行われる後期生徒会総会に向けた1年間の反省を話し合ったりしました。

現在、生徒会は2年生が中心になって活動を行っています。これまでの3年生の先輩方が活動してきた伝統を受け継ぎながら、活動を活発化させようとしています。そのいくつかを紹介します。

- 自治班：外国語あいさつ運動 毎週木曜日の朝のあいさつ運動は「外国語」で行う。2月は韓国語
- 図書部：「図書だより」の発行 先生や生徒のおすすめの本の紹介
- 給食部：残滓調べ 給食の残滓をなくそうと学級や放送での呼びかけた結果、残滓が大きく減少 2の2, 2の3, 3の2は毎日完食
- 保健部：各学級で感染予防のためにどんなことができるか話し合い、それを実践する。(例：休み時間毎に窓を開けて、換気する)

よりよい学校生活を送るために、各専門部がアイデアを生かした新しい取り組みを行い、成果を上げています。



ユネスコ協会へ募金を届ける



生徒会専門部



図書だより

第3回学校評議員会が開かれました

2月10日(水)の午後、第3回学校評議員会が開かれました。まず5校時目の全クラスの授業を参観していただき、その後、今年度の学校運営状況や進路状況、学校評価、来年度の学校経営等について協議を行い、さらには学校評議員の方々からご意見をいただいたり、情報交換を行ったりしました。

学校評議員の方々からは、「子ども達が落ち着いて授業を行っていて安心した。」「学校がきめ細かく対応していて保護者も安心しているとの声が聞かれている。」「コロナ禍の中で教育活動が制限されている中で、しっかり対応している。」「厳しい状況だが、子ども達に希望を持たせてほしい。」などのご意見をいただきました。

本日話し合われた内容やいただいたご意見を今後の学校運営に生かしてまいりたいと思います。



授業参観



学校評議員との話し合い

2月半ばになり、だんだんと春らしい陽気になってきました。寒い日と暖かい日が交互に繰り返されるまさに「三寒四温」です。3年生の卒業まで残り1カ月を切り、出席日数も残すところ16日間です。3年生は卒業式の練習も始まり、各学級に貼られている卒業までのカウントダウンカレンダーの数字が少なくなっていくことでだんだんと卒業を意識していることでしょう。一小の時から9年間一緒に過ごしたメンバーと一緒に過ごすことができるのも本当にわずかです。明るい日差しが差し込むようになった教室で、友達との何気ない会話や他愛もない雑談などを大事にして、貴重な時間を過ごしてほしいと思います。そして最後に3年生全員で行う「卒業式」が感動的なものになることを強く期待しています。